

## 岡真理201408131007パレスチナフォーラム

京都の岡真理です。8月2日、テキサス州オースティンで開かれた、イスラエルによるガザ攻撃に対する抗議集会で、政治コメンテータであり人権活動家、作家であるラニア・マスリーが、オバマ大統領を批判して、「野蛮とは何か」についてスピーチを行いました。

英文サイトの冒頭でビデオを見ることができます。

<http://mondoweiss.net/2014/08/barack-meaning-barbaric.html>

ラニア・マスリー、オバマに「野蛮」の意味を教える

アニー・ロビンス

Mondoweiss / 2014年8月11日

オースティンとその周辺地域から数千人が、イスラエルによるガザ攻撃に抗議する世界じゅうの何百万もの人々の列に加わり、抗議集会と抗議デモに参加した。だが、8月2日のオースティンの抗議行動はほとんど報道されなかった。

この集会でラニア・マスリー博士は、オバマ大統領の「野蛮な」という言葉の使い方を厳しく非難した。その大迫力のスピーチのビデオは、ソーシャルメディアによって取り上げられるや、毎日、何千件ものヒットを獲得している。

イスラエルに対するボイコット・投資引上げ・制裁を支援するよう呼びかけるラニア・マスリーの、怒りに満ちたビデオを見て欲しい。彼女の素晴らしいスピーチの一語一語をかみしめてほしい。スピーチはすでに3つの言語に訳されている。

-----

### ■ミスター・オバマ、野蛮とはどういうことですか？

昨日 [8月1日]、オバマ政権は、パレスチナのレジスタンスが侵略軍の兵士を捕えたことを——引用しますが——「野蛮な行動」と言いました。オバマ大統領とその政権は、侵略している兵士を占領軍から誘拐することを「野蛮」であると見なしているようですが、1600人以上のパレスチナ人を彼らの居住する地区で、自宅で、学校で、病院で、遊び場で、浜辺で集団殺戮することは、野蛮なことではないようです。

私たちはミスター・オバマに、何が野蛮なことなのかを教えなければいけません。

野蛮というのは、イスラエルが、ガザの70以上もの家族を殺すことです。70以上のパレスチナの家族が亡くなったのです。

野蛮というのは、ガザの30万人もの子どもたちが自分の家を亡くしたり、愛する者を亡くすことです。

野蛮というのは、病院が標的にされることです。ガザの9つある病院のうち6つが閉鎖され、イスラエルが残りを攻撃すると脅すことです。

野蛮というのは、地区全体が破壊され、あるジャーナリストが「黙示録的」と呼ぶようなものになってしまうことです。

野蛮というのは、260平方キロもないような小さな地区に50万基ものミサイルを落とすことです。

野蛮というのは、ガザの経済を破壊してシオニズムの政策のことです。彼らが発電所を爆撃したのはそのためです。下水処理場を爆破したのはそのためです。昨日、アイスクリーム工場を破壊したのはそのためです。

野蛮というのは、2005年以来、ガザに対して課せられている封鎖のことであり、1995年以来、ガザを囲んでいる塙のことです。野蛮というのは、この封鎖がガザのパレスチナ人の経済を破壊し、それを不能にし、それを壊すことを目的としていることです。野蛮であるとは、ミスター・オバマ、こういうことを言うのです。

野蛮というのは、ミスター・オバマ、今まさにイスラエルから発せられているもの、すなわちガザのパレスチナ人のジェノサイドの公然たる呼びかけのことです。イスラエルの新聞に書かれていることです。つまり、現副首相がガザのパレスチナ人のジェノサイドを呼びかけているということです [注：「我々はガザを中世に戻さなければならない——すべてのインフラを破壊して、道路も水も」と彼は言っている。]

しかし、このどれ一つとして、私たちパレスチナ人にとって目新しいものではありません。私たちはこれを以前から目にしてきました。私たちはこれを、以前からずっと目にしてきたのです。驚きでもなんでもありません。そうであったら良いのに、と思います。でも、ガザで、ラーマッラーで、クドゥス [エルサレム] で起きているこうしたことのどれ一つとして、新しいことではないのです。

野蛮というのは、ミスター・オバマ、シオニズムのことです。イスラエルの第4代首相のゴルダ・メイールは言いました、「パレスチナ人などというものは存在しない」と。野蛮というのは、私たちのアイデンティティを否定し、私たちの存在を否定することです。

野蛮というのは、イスラエルのまた別の首相、メナヘム・ベギンが1949年に言ったことです。彼はパレスチナ人を「2本足で歩く獣」と呼んだのです。

野蛮というのは、歴史家のベニー・モリスが言っていることです。この歴史家は、イスラエルのいずれの村も町も、パレスチナの村や町の上に築かれたと認めながら、このジェノサイド、この民族浄化を正当化し、最近では、ガザのパレスチナ人の民族浄化を呼びかけました。これが野蛮ということです。

野蛮というのは、イスラエル攻撃軍が呼びかけているもののことです。彼らは実に明確に言っています、将校は——引用します——「多数の民間人の死傷者」を標的にすることを彼らに許可するという法的アドヴァイスを受けています。この発言は2014年になされたものではありません。2009年のものです。

野蛮というのは、ネタニヤフが言っていることです。彼は、我々は彼らを叩かねばならないと言っています。「一発だけではなく、あまりに苦痛に満ちているので、その代償があまりに重くて耐え難いような複数の打撃を」と。彼がそう語ったのは2012年です。野蛮とはこのことです。

野蛮というのは、ネタニヤフが、我々が彼らの村を破壊したら彼らは何と言うだろうかと訊ねられたとき、ネタニヤフが言ったことです。「世界は何も言わない。世界は、我々が自衛していると言うだろう」

オバマ大統領は言いました——引用します——「一斉砲火に遭う罪なき民間人が私たちの良心に重くのしかからなければならない。私たちはこれ以上のことをしなければならない。」

あなたに訴えます、ミスター・オバマ、これ以上しないでください。なぜなら彼がこれ以上のことをするとき、彼は、さらなる兵器を与え、私たちのお金を何百万とイスラエルという戦争機械に提供するからです。いいえ、ミスター・オバマ、もし、これが、私たちの家族の死が、あなたの良心に重くのしかかるということなら、お願いですから、これ以上、しないでください。

私たちは、ガザのパレスチナ人に対して、この27日間にわたりなされてきた犯罪が目新しいものではないことを認めなければなりません。2005年の封鎖以来、ガザのパレスチナ人に対してなされるそれらの犯罪は、目新しいものではありません。それらが始まったのは1948年なのです。

私たちは何が野蛮なのか、認識しなければなりません。野蛮とはレイシズムのことです。野蛮とは、パレスチナ人を「人口学的脅威」と定義することです。人口学的脅威と、それゆえにパレスチナ人の存在はイスラエルの生き残りに対する脅威であると見なすことです。私たちの存在は、彼らが生き延びることに対する脅威なのです。それはつまり、私たちが存在するという事実だけで、彼らが私たちが殺すことが正当化されるのです。野蛮とはこのことです。レイシズムのことです。シオニズムのことです。私たちが終わりにしなければならないもののことです。

私たちがここにいるのは、みなで一緒にこう言うためです——私たちはイスラエルに対する武器の禁輸を要求する。私たちはイスラエルに対する武器の禁輸を要求する。

私たちがここにいるのは、こう言うためです——私たちは国際刑事裁判所と国際司法裁判所に要求する、イスラエルの戦争犯罪をとりあげて、ジェノサイドの罪に公正な裁きを。

私たちは占領を終わらせることを要求する。レイシズムを終わらせることを要求する。

私たちは、イスラエルを制裁することを相談しなければならないと言ったフィンランドの外相を支持します。

私たちはラテンアメリカの諸政府を支持します。エクアドルからエルサルバドル、ボリビア、ブラジル、ベネズエラ、チリ、ペルー、キューバなど、イスラエル大使を追放した諸政府

を支持します。私たちは、イスラエルは「テロ国家」だと言ったボリビア大統領、エヴォ・モラレスを支持します。

私は次のように言わねばなりません。私たちはパレスチナ人の家族たち——女性たち、子どもたち——を支持するだけでなく、パレスチナ人レジスタンスをも支持しなければならないと。もし、私たちが、占領下の住民には自衛の権利があると言うのであれば——占領下の住民にはそうする権利があるのです——、私たちはパレスチナ人のレジスタンスを支持します。私たちはパレスチナのレジスタンスを支持します。

もし、私たちがパレスチナ人に対するレイシズムに反対するのであれば、私たちは、誰に対するレイシズムであっても、どこにおけるレイシズムであっても、反対しなくてはなりません。それはつまり、ミスター・オバマ、私たちはあなたの無人機にも反対するということです。私たちはあなたの無人機に反対します。ミスター・オバマ、私たちは、テキサスその他の合衆国のどこかの家族たちを分断するあなたの移民政策にも反対します。

私たちは、アフリカンアメリカンやラティーノアメリカン、そしてすべての有色人に対する差別に反対します。私たちはこのことをパレスチナ人として言っています。私たちはこのことを人権活動家として言っています。この国の刑務所の民営化を止めてください。無人機も終わりにしてください。野蛮なことをことごとく終わりにしてください。それが私たちが言っていることです。

私たちは誓います。私たちは、今日、ここで誓います。私がこれまで知る限り、もっとも困難から立ち直る力に富み、今、立っている、1948年からずっと立っているパレスチナ人の名において、彼らに誓います。爆撃が止んだら——爆撃はいつか止みます——私たちは今日の怒りを思い出し、今日の涙を思い出し、決してくじけないと。パレスチナ人が生き延びるかぎり——そして彼らは生き延びています——、彼らがこの困難から再び立ち上がる限り——そして、神に誓って、私たちは困難から必ず再び立ち上がるのです——私たちは決してくじけず、団結します。つまり、ここに集っているみなさん一人ひとりが誓うのです、パレスチナを支持し、ボイコット・投資引上げ・制裁の運動に参加すると。ダラスで、ヒューストンで、オースティンで、あるいはテキサスのどこから来よう、ボイコット・投資引上げ・制裁の運動を支援するということをみなさん一人ひとりの誓いにしてください。[ビデオはここまで]

—————

私たちはアパルトヘイトの壁を打ち壊す。私たちは占領と封鎖の恐怖を終わらせる。私たちは、あらゆる形態の隔離を廃絶する。私たちは私たちの闘いを繋ぐ。そして私たちは、レジスタンスを教える。これをあなたの誓いに!

[翻訳：岡 真理]

—————

以上